

「友達を助けて実を結ぶ」

マルコによる福音書 4章14節

聖学院小学校・幼稚園チャプレン 中村 謙一

ある日A君は、自転車の後ろの座席から飛び降りた時に左足を骨折してしまいました。しかし、A君は松葉づえで幼稚園に頑張って来ました。A君は、いつものように外に出て、園庭で遊ぶことができませんでした。A君は静かに椅子に座って、テーブルの上でお絵かきや読書をしました。A君は一人でした。男の子は皆、外に出て元気に遊んでいました。A君は、ぼつんと一人だけでした。それを見てかわいそうに思って、Tちゃんがやって来て、「一緒に遊ぼう」と言いました。A君は「いいよ」と言って、二人で列車ごっこをして遊びました。いつもは幼稚園のホールの床に敷く線路でした。それをテーブルの上にTちゃんが持ってきてくれました。二人は、テーブルの上に駅や橋を作り、列車を手で動かして楽しく遊びました。Tちゃんは、A君の怪我が治るまで、本当によく一緒に遊んでくれました。Tちゃんは、聖書の言葉をよく覚えている子でした。日曜日には休まずに教会学校へ通っていました。Tちゃんの心には、聖書のみ言葉が蒔かれていました。神の御子、主イエス・キリスト、私達の愛するイエス様の教えが、Tちゃんの心にみ言葉として蒔かれ、小さな芽を出し、お友達を助けることで実を結びました。まだこれからも、Tちゃんの心に蒔かれた聖書のみ言葉は沢山の実を結び、Tちゃんはもっと多くのお友達を励まし助けることができるようになるでしょう。

マルコによる福音書4章14節には、次のように書かれています。「種を蒔く人は、神の言葉を蒔くのである。」イエス様のお国で種を蒔くのは農家の方々でした。しかし、その種は、神様が創造された大自然の恵みによって得たものでした。この「種」とは、恐らく、大麦・小麦の種であったでしょう。それを雨季が来る前に、農家の方々が畑に蒔いたという譬をイエス様が語られました。イエス様はこの譬話の中で、種蒔きと神の言葉が人に聞かれる事とを比較しています。神の言葉が聞かれるとは、聖書のみ言葉が人の心に入っていくことを意味しています。種を蒔く人は神様です。それはイエス様です。良い土地とは良い心のことです。それは神の言葉を素直に聞く姿勢です。聞くだけでなく、神の言葉をよく守り、よく忍耐します。そのような態度を持つ人の心に神の言葉が種のように蒔かれるとどうなるのでしょうか。その人は30倍、60倍、100倍の実を結び、多くの他者を助け、神様の祝福を受けます。人の心は、神の言葉を聞くことによって育ち養われ生かされます。良い土地である心は、知識と体を用いて、神の栄光のために働こうとします。自分だけでなく他者を助けることへと導かれるようになります。もちろん、イエス様は、様々な問題もあると言っておられます。実がなかなか結ばれない理由をイエス様は次のように説明されていました。

道端に落ちた種とは、サタンが来て聞いたみ言葉を奪い去ってしまう人の場合だそうです。道端は踏み鳴らされている固い土ですので、それはみ言葉を受け入れようとしない頑固で強情な心を象徴していると思われます。石だらけで土と水分の少ない土地に落ちた種とは、根があまり育たないので、

苦しいことが起こるとすぐにつまずいてしまう弱い心の人のことです。いばらの中の土地に落ちた種の場合とは、世にある心配、富への誘惑や欲望によって、蒔かれたみ言葉が心の中で覆いふさがれてしまう人のことです。このように様々な原因によって実を結ばないことが起こると、イエス様は弟子達に言っていました。種を蒔いても育たない様々な原因とは、すべて心の中の問題でありました。イエス様は、ここで心の教育がいかに大切であるかをも、伝えているように思えます。

心は目に見えませんから、うっかりしていると大変です。種蒔きの人の譬を話されて、心の教育の大切さに気付かせてくださるイエス様に感謝です。私達は皆、茨の中の種のようになりかねないのです。茨は取り除かれなければならず、足りない土は補給され水をやらねばなりません。踏まれて固い道端に落ちた種は柔らかい良い土地に植え替える必要があります。又、悪の代表であるサタンに心の間を与えてはいけません。心を良い土地になるように耕すということが日々必要になってきます。実は、聖書によれば、目には見えなくても父なる神様が私たちの祈りにお答えになられて、土と格闘する農家の人のように私たちの心をよく耕してくださっています。農夫のような父なる神様が天におられるのは、私たちにとっては大変な恵みであると思われます。

現代においては、イエス様が地上におられた時に蒔かれた種が実を結び、諸教会とキリスト教学校を通して、世界中の多くの人々の心に神の言葉が届いています。例えば、皆さんは、今朝も、聖学院幼稚園の朝礼拝で聖書のみ言葉を聞いています。よく聞き、よく守り、よく我慢して、100倍の実をつけ、天からの祝福を受けるところであります！子らの心を育て生かすのは神の口から出る一つ一つの尊いみ言葉です。諸教会の教会学校へ通い、子供礼拝に出て、聖書のみ言葉を学びましょう！み言葉について質問がある時には、必ずその教会の牧師先生や教会学校の先生に聞いてみましょう。分からないことをそのままにしないようにしましょう。必ず祈る気持ちを持って聖書のみ言葉を読みましよう。祈りを通して心にイエス様をお迎えして、いつでも心を立派で良い土地にしておきましょう。

祈禱：天地万物を造られ、大自然の恵みの源であられる神様、秋の実りの収穫をお与えくださって、本当にありがとうございます。神様、あなたが私達の心に蒔かれている神の言葉の種の収穫にも感謝致します。神様、どちらも100倍の実を結ばせて下さい。イエス様のみ言葉をよく聞き、よく守り、よく我慢し、自然の実りと共に、あなたの御心の実りにもあずかる子としてください。この祈り、十字架と復活の神の御子、主イエス・キリスト、私たちの愛するイエス様の御名によって、御前にお献げ致します。アーメン。

2017年11月6日 聖学院幼稚園 朝礼拝